

シャープ社友会 栃木支部会報

第30号

nikko

2012. 7. 1 発行
発行責任者 増田武司

<http://www.tcg-syayu.co-site.jp/index.html>



日光杉並木街道 撮影：大屋信幸（会員番号5522）

平成二十四年度 定期総会

シャープ社友会 栃木支部長

増田 武司



会員の皆様には日頃より、社友会活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

今年度の本部及び栃木支部の総会が開催されましたので概要をご報告します。

一、本部の定期総会

四月十六日（月）本部総会に引継ぎを兼ねて、岩村顧問と二人で出席しました。

当日は二〇六人の会員が出席されました。始めに御手洗会長から、今年度の活動計画の基本的な考えが、そして会社代表の安達副社長からは会社の近況と奥田新社長の基本的な方針が説明された後、議事に入り、各議案ともに原案通り承認されました。

二十四年度の活動計画の骨子だけ記載します。

- ① 会員への支援・サービスの充実
- ② 同好会活動に対する質、量の強化
- ③ 社会貢献活動の推進として、社友会として里山の保全に力を入れる。また同好会活動を通してボランティア活動を実施する。

の三本柱を基本の活動計画としています。

総会終了後、支部長連絡会があり、共通の課題について各支部より現状が報告されました。

特に慶弔費については、本部、全支部とも支出に対する慶弔費の占める割合が高くなり、このままの状況が続けるなら数年先にはまかないきれなくなる

ことが予想されることを共通認識として、今後の重要検討課題とすることになりました。

二、支部の定期総会

支部の総会は、五月十三日（日）に開催しました。

総会内容は別に記載しますが、本年度の活動の基本的な考えを記述します。

私は社友会の活動の原点は

- ① 会員相互の親睦を図る活動

懇親の花見や旅行、新年会の実施

クラブ、同好会の充実

シャープ労働組合 栃木支部
執行委員長 印南 幸裕



日ごろは、増田支部長をはじめ、多くの皆様に労働組合の活動に對しまして格段のご支援とご協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。

昨年は何と言っても三月十一日に発生した東日本大震災では、各地に大きな爪痕を今なお残しています。

このような中で、矢板市内においても、成田、荒井地区をはじめ沢山の方々被災されています。特に多くの社友会の皆様が住んでいる地区に被害が大きく、心を痛めています。今後もしピードを上げた復興が出来るようにご祈念いたします。

さて、昨年行なわれた統一地方選矢板市議会議員選挙におきましては、「中村ひさのぶ」現栃木支部

- ② 存在感としての活動

SGC活動等の会社行事への協賛
地域社会活動への参画

と考えています。

このことを前提にして、例年の通り、親睦行事の花見や新年会、クラブ活動への支援やSGC活動等の会社行事の協賛を継続するとともに、地域活動への具体化に向けて取り組みます。

会員の多くの方は、地域に於いて、いろんな分野で参加し、活躍されています。それらの活動について、社友会としてどのように協力できるか、そして社友会として地域にどんなことが出来るかを会員の生きがい作りのサポートとともに地域社会へ参加することについて具体化に取り組んでゆきます。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

副委員長が3度目の当選を果たすことができました。社友会の皆様をはじめ、多くの皆様からのご支援のたまものと感謝いたします。現在は議会の副議長として働かせて頂いています。引き続き暖かいご支援を頂きますようよろしくお願いいたします。

現在、AVシステム事業本部ではエコポイントの終了、アナログ停波以降の家電市場の低迷やデフレ状況が続く大変厳しい状況が続いています。液晶テレビ事業の不振が会社経営を直撃し3000億円を超える過去最大の赤字となつてしまいました。

現在緊急の経営対策を行いつつながら会社経営の立て直しの懸命に行っているところです。また、本年9月には当社は創業100周年を迎え、今年は新たな100年の第1歩の年となるように全従業員が一丸となつて頑張つていきたいと思ひます。

最後になりますが、社友会皆様のますますのご発展と会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

第二十四回

栃木支部定期総会を開催



和やかな懇談昼食会風景
(裏表紙に集合写真)

五月十三日(日)、大田原市ふれあいの丘シャトーエスポワールにて定期総会を開催。九十名の会員と三名(総務部田中副参事、労組栃木支部印南委員長、中村矢板市議会議員)の来賓に出席いただきました。議長に梅川勝氏を選出し、議案書に基づき意見交換を重ね、議案は提案通り承認されました。永年、会報編集に貢献のあった仲谷輝郎氏に感謝状と記念品が贈呈されました。総会後に記念撮影をし、懇親昼食会では会員相互の旧交を温めました。

長寿コーナー

米寿を迎えて



会員番号 〇三七四

土田 甲子

長寿のお祝いを頂き有難うございました。

健康に恵まれあまり「年寄り」という感じは持っていませんでした。改めて高齢を自覚いたしました。ふり返りますと少年から青年期の昭和初期は日本が著しい発展を続けました。

その反面、軍国の強化が進み大陸への進出によって

他国との戦争が続きました。一緒に米寿を迎えたであろう戦死した竹馬の友を思い出します。

昭和二〇年、戦争に敗れ米国支配の民主主義国家へと・・・私たちの環境は萬般に亘って破壊や改革による混乱が続きました。

そんな時代が私の働き盛りで仕事に励み、子供を育てて来ました。苦あり、楽あり、功も罪もあり悔いも残した、アツ！という間の八十八年でした。総じては平凡な人並みの人生だったと思います。

大勢の人との出会いで、指導やご支援を戴き深く感謝いたします。懐かしい過去を思い出しながら残りの人生を全うしたいと思います。

喜寿を迎えて



会員番号 〇六五一

小松 博

喜寿のお祝いをいただきありがとうございます。

昨年九月末に喜寿を迎えて、早や半年が経過しておりますが、健康面では、お陰様で、大病を患うことなく生活しております。

しかし老化には勝つことはなかなか難しく、老人病の前立腺肥大や白内障等々を患う様になりましたが悪化する前に、通院治療につとめた為普通の生活をしております。

平素は、娘夫婦と暮らしていますが、共働きの為、孫の帰りを迎え、若干の家事を手伝う事で、身体を動かし運動不足を補う様にしています。ボケ防止の為に、電子辞書を活用しながら漢字クイズを解いて、頭の体操をしております。

これからは足腰の老化が進むことから、散歩の時間を増やす事に努めたいと思います。機会があれば、社友会の行事に参加できる様に健康管理に努めたいと考えています。

喜寿なんてまだ小娘

会員番号 〇七一九

富岡 夢子

宇都宮には百才の女流詩人が居られる。もはや言う事は何もない。

昔お世話になったK先生―GFWC (USA最大の婦人団体) の総会でサンディエゴやニューヨークに連れて行って頂いた。なくなられたか介護生活と思いきや、老人ホームへ英会話を教えるに行かれている(九十才にして現役！)

昨年十月女子高昭和二十八年年度卒業(皇后陛下と同年)の第五十回クラス会が催され、最終回として九十余名が出席。喜寿及びその予備軍が百名近く一堂に会し、いざ九十五才否百才への揃い踏み(私を除いて！) 早川電機矢板工場発足のいきり、海外客のアテンドは最重要事項で海宮課長のN様は一人四役(兼部長兼係長兼課員)で頑張って居られた。私も睡眠時間四時間半を二年間続けたら天井がグルグル回り出し、若年性高血圧。今、血管年齢は百二十才らしいが何とか生きています。

N様は私と同じ年だったのに十年前鬼籍に入られてしまった。
(男の子はもうい！)



95才で現役のK先生と筆者(右)

古希を迎えて

会員番号 二〇七九

尾坂 明



定年退職から早や十年、在職中は色々な方にお世話になり、このたびは古希を迎えて迎えることができました。また、気持ちの上では現役当時と変わらないと思っています。

定年後、何か地域の人々と共に奉仕活動ができればとテーマ探しに明け暮れていました。

探しあてましたのが「地球温暖化防止活動」エコ活動で、このボランティア活動を通し社会奉仕に参加、早や十年が過ぎました。今後も継続し元気に活動をしてまいりたいと考えています。

参考までに現活動について一例を紹介します。

◇省エネルギー普及指導員(経済産業省資源エネルギー庁所管(社)省エネセンター)

省エネ実践…三月十一日午後三時ごろ、突然、

未体験の激震に襲われ、地震による原子力発電が発電不能となり、東京電力の供給電力量不足などで大停電による後遺症がいまだに続いていることはご存じの通りと思います。その対応の一環として各企業、各一般家庭、各小中学校で具体的な方策が求められています。その為の推進方法としてサポーターの支援活動が全国的に展開しています。

◇栃木県地球温暖化防止活動推進員(栃木県エコリーダとして活動)

地球環境の改善…二酸化酸素排出量の削減を中心に一般家庭向、小中学校向、企業向けに省

エネルギーの推進およびごみ減量化を推進しCO2削減を支援しています。

又、今年度からは那須塩原市の環境連絡会に参加する事に成り、引き続き健康に十二分注意をしながら頑張りたいと考えています。

会員番号 二〇九八

網野 正輝



昨年(二〇一一年)十一月に古希を迎えました。定年後早くも十年がたったことに驚いています。

退職後は、体力維持と運動のためにゴルフ及び長年趣味として続けていたスキーを始めようと用具をそろえ再開しました。

スキーは最初北海道のキロロや長野奥志賀高原、山形蔵王のような長いコースで楽しんでいました。

65歳を過ぎてからは、近場の奥塩原や那須のスキー場に場所を変えていましたが、66歳の時、体力の限界を感じ用具を処分し、きつぱりとやめました。

ゴルフは、下手の一言に尽きる。

日々の訓練と運動不足を補うため練習場に通い、先輩の良きアドバイスを受け、二〇〇二年の平均95が、二〇〇七年には平均89、二〇一一年で平均85と上達の兆し有りと思いい、大きな勘違いを元に日々精進。二〇〇九年に生涯のベストとなる73。

これからは体力の衰えをいかに維持するかにより、夢のエージシュートを77歳の喜寿で達成することを目標に取り組んで行きたいと思っています。

今後は、家族共々健康に留意し、ゴルフ、たまに釣りを友人たちと一緒に楽しめることを感謝し毎日を過ごして行きたいと思っています。

会員番号 二二九一

尾崎 亘宏



定年退職から早くも
十年が過ぎ今年一月に古
希を迎えました。

七十年間部品交換もせず大した故障もせずに良く働
いたものだと思ひ母親に感謝しております。

退職後は趣味としてきたことが生きがいとなってい
ます。

私の趣味として一つは釣りですが特に鮎釣りが一番
面白いと思っています。友釣りは栃木にきてから始め
ましたが釣りの醍醐味として囀鮎と地鮎の大きいのが
掛り流芯に向かつて引き込む時の手ごたえはなんと
言えません。

鮎は一年魚で夏は清流で石に付いているミズゴケを
食べて成長し秋に川を下って(落ちアユ)河口で産卵し
ます。十二月にふ化した稚魚は一旦海に下ってプラン
クトンを食べて五センチ程度になると川を上り中流で
石に付いたミズゴケを食べて大きくなるのですが、こ
の時、ミズゴケを確保するために川底の石に縄張りを
持ち侵入して来る仲間を攻撃して追い払います。
この習性を利用した釣りが友釣りです。

魚で弱い所は腹ですが、野鮎は囀の腹へ噛みつこう
として攻撃してくるので囀の腹のすぐ後ろへ掛けバリ
を付けて野鮎をかけます。

趣味として他に「菜園作り」「竹細工」「山歩き」「ド
ライブ」等、いろいろですが、今後とも屋外で体を動
かして体力、筋力の低下を抑えて楽しい毎日が過せ
るように心がけたいと思っております。

幹事コーナー

第三班幹事 藤井 恭平



昨年春から、栃木支部三班
の幹事を仰せつかつている
藤井 恭平です。

担当区域は、北は成田に隣接するロビンシティから、
南は安沢の南端までの13人のメンバーを担当してい
ます。社友会とメンバー間の連絡・周知・広報など、パ
イプ役として、円滑な社友会運営の一翼を担うべく努
力いたしますので、よろしくお願い致します。

「あれから40年 地域の今は」

第七班幹事 梅川 勝



我々第七班は矢板市末広町
と中地区の一部からなり、矢板
駅東口より国道4号線まで東
西距離約9百メートルの幅南
北は長峰公園口から日本タバ
コ専売公社倉庫までの約9百メートルの範囲に位置し
ています。

班内の外周距離は約3千メートルあり(私の歩幅で
5千歩程度) 会員15名が居住しています。

シャープが昭和43年4月(1968年)この地に工場
展開した当時は、秋田木材工業の工場と材木置き場で、
住宅も道路も無く広い野原で人の往来も出来なかった
所でした。

その後 昭和55年(1980年)に「駅東土地区画
整理事業」が起工し、矢板駅東地区の再開発が始まり、
班内の外周3千メートル内が大きく変貌し便利で住
みやすい地区に生まれ変わりました。(私の感想です
が)

当地には、文化財や史跡はありませんが、生活する
うえで公共施設や商業施設等が出来たのは生活環境の
大きな変化だと思っています。

第七班内に存在する主な施設等の紹介

1. 我々の安心・安全を守る矢板警察署が矢板駅西
側より移設
2. 雇用促進住宅5階建て2棟が建設され既に多く
の市民が居住されている
3. 医療機関としては、内科・整形外科医含めて
3ヶ所、歯科医2ヶ所
4. ショッピングストアが3ヶ所、ドラッグストア
1ヶ所、コンビニ1ヶ所
5. ビジネスホテル及び旅館 2ヶ所
6. 交通機関としては、矢板駅東口から羽田空港へ
の高速バス1便発着
7. 矢板市営バス運行 長峰公園入り口より安沢線
が午前と午後各1便運行
8. 幼稚園 1ヶ所 児童公園 5ヶ所(市の財政
難のため整備不足)
8. 長峰公園より4号線までの南行きの道路が新規
開通している

この様に矢板市の街づくりが大きく変わった地域とし
ては、我々が住む七班ではないかと思っています。
今後十年二十年先へ、今以上に住みやすい街づくりが
進むことを期待したいものです。

歴史の香りが残る矢板西部地区

第十一班幹事 河越 泰博



十一班は、矢板の西部地区に在会の会員、10人で構成されています。

当班は、田園や山林が中心の広いエリアに、会員の住いも塩田地区1人、幸岡地区2人、館の川地区2人、川崎反町地区4人、境林地区1人と、分散しています。

私は、矢板工場の操業初期からお世話になってきましたが、担当業務の関係から単身赴任で矢板を離れることも多く、当地に落ち着くことができたのは、定年退職後のことです。故に、現役時代は、組内の方々のお付き合いも家族任せで、地域の政（まつりごと）や歴史に触れる機会も、殆ど有りませんでした。

今回、会報に寄稿するにあたり、「高原山も太古は海であった」という一節が始まる、昭和56年矢板市発行の「矢板市史」を斜め読みしました。その一部によれば、川崎反町は、古くは1199年（鎌倉時代）頃、塩谷朝業公が築いた川崎城の城下町として、そして江戸中期にはこの地域を会津中街道が開通したことにより、その宿場町として賑わった集落であったとのこと。

幸岡村は、寛永13年（1636年）の日光東照宮の改修に合わせて日光北街道が開通し、幸岡村高内地区の中を官道が通ることになり、問屋、駄賃つけ、かご屋等の、街道関係の仕事や旅人に必要な商品を置く店などができて、高内宿として発展したとのこと。

時代が明治に入って、矢板村を新陸羽街道（国道4号線の旧道）が開通したことや東北本線矢板駅の開業等により、賑わいの中心が西部から東部に移って行ったとのこと。

そう言えば、幸岡地区の旧日光街道沿いには、昔の

高内宿の名残だそうで、「屋号」のあるお宅が多いと聞いたことがあります。

歴史の香りを楽しみながら、健康のためにも近くの梁目川の辺を散歩し、時にゴルフも楽しんでいる今日の頃です。

早朝ウォーキング

第十五班幹事 岡本 純一



私も十五班は、大田原地区で25名の会員が在席しており昨年来より社友会と会員のパイプ役として活動させて頂いております。

私は定年退職と同時に体力維持のため始めたのが「早朝ウォーキング」で、約十年近く続いています。ウォーキングの場所は大田原美原公園陸上競技場の外周にある一周628mのジョギングコースです。

このコースは数年前、競技場改修時にトラックと同等のゴムラバーが敷かれており、歩いても脚・膝への負担が軽く、また周辺は木々が多くベスト環境の所を毎朝強弱をつけて5〜6回の周回で約5km近くを歩いています。

・早朝ウォーキングの魅力と効果

① 四季、春は桜、夏は青葉、秋の紅葉、冬は木枯らしと、季節の移り変わりの体感。

② 早朝の空気がオゾンを含む冷気で深呼吸するたびに爽やかな気分になれます。

③ 人との出会いで朝の挨拶といういろいろな情報が得られること。

④ ゴルフ時もコースをカートに頼らずに歩行を優先する様にしています。・・・等、

日々、気分良くスタート出来ます。皆さんも如何でしょうか。

地域の紹介

第十八WS班幹事 神原 紀夫



昨年四月に班の再編成があり、当班の会員は現在12名です。

地域紹介については既に前任者から駅周辺について紹介済みであり、今回は市の中心から西、及

び南側の方角に向って紹介します。

宇都宮駅西口、宮の橋を起点に、大通りを西に向って二荒山神社、東武宇都宮駅、作新学院を経て県道七十号を大谷石で有名な大谷町、古賀志町へ約十七キロで隣接する日光市文挾の境界に至る。

桜通り交差点を南に直進して栃木街道沿いには宇短附高校、隣接する博物館、中央公園があり、公園内には早朝から大勢の人が、散策を楽しむ場となっています。その先三キロ程で宇都宮高校、約五キロ程行くと西川田町の西側には子供総合科学館、東側には県総合運動公園があり、公園に併設されている栃の木ファミリランドには、小さな子供さんと遊園地で楽しむ多くの親子連れが訪れます。

この道路に並行する百十九号を東武宇都宮駅から南に行くと、シャープ栃木支店を経由して国道4号に合流、JR宇都宮線に沿って雀宮駅、昨年秋季に移転した宇都宮工業高校、陸上自衛隊宇都宮駐屯地迄約十キロで隣接する下野市に至る地域が当班の範囲です。又、市の中心には幕末の混乱期に戊辰戦争で戦火に遭い消滅した、宇都宮城の一部が平成一九年に復元（清明白富士見櫓、土塁、堀、築地塀等）町の中心に歴史を感じれる宇都宮城址公園として市民の憩いの場となっており、来園の際には隣接する市役所駐車場が休日でも解放されて便利です。

一般投稿コーナー

イワシとサメの話です

悦内 芳孝



ここ二年ほど前から、ひと様に会うと、申し合わせたように「何をしたいらっしゃいますか」と聞かれます。「いや、もう卒業しましたから・・・」と返答しなければなりません。すると「悠々自適ですか。いいですね」と云つて下さいます。仕方なく「晴耕雨読で何とか過ごしています」と切り返すものの、これからの余生、こんなに無為・漫然と過ごして良いものだろうかと悩むようになりました。

そんな思いの中で迎えた昨年の夏、小山に住む孫娘が泊まりに來たので小さい頃の話をしてやりました。「あそこへ行ったね。その時こんなことをしたね、あんなことを言ったね」と聞いてみても、「え、覚えてないよ」と言われて終わりです。あれだけ連れ回したのに、どうやら、三歳の終わり頃に電車とバスを乗り継いで宇都宮まで映画を見に行ったことが記憶の始まりのようで、それ以前のことは何を聞いても会話になりません。

それから暫く経った或る日、或るテレビ番組で、或る水族館のイワシの水槽にサメを入れたところイワシが1・5倍も長生きするようになったことを取り上げていました。「海に住んでいるイワシは、いつ襲われるとも知れない天敵のサメの脅威に晒されているが、水族館にいるイワシにはストレスも緊張感も無いから長

生きできない」との話で大いに盛り上がっていました。うーん、そうか、ストレスが無くなった人間様も長生きはできないなと感じました。その時、これからは、したこと、見たこと、思うこと、何でも良い、形あるものにして残そうと決心しました。

そこで思いついたことがブログを始めることでした。日記でもいいのですが、日記では、先のことゆえ誰が読んでくれたか、ましてや読んでくれるかさえ、実のところ本人には全く判りません。

ブログは始めてみると結構大変です。誰が見てくれるか判りませんが、逆に考えれば不特定の誰かが必ず見てくれています。

そうすると、良い記事を書きたいと思うようになり、何がしか誰かの役に立っているような気持ちになりました。そして、掲載する材料を探すために躊躇なく出掛け、歩いて、身体を動かし、写真を撮って、くたびれかけた頭もフルに使わざるを得ません。

続けていると、週に一本、いや、月に四、五本は書かなければとの強いプレッシャーを感じるようになります。プレッシャーはストレスそのものですから、この調子だと憎まれるくらい長生きできるのではないかと心配するくらいです。また、継続は力なりと言いますから、せめて出歩ける間は頑張つて、節目、節目で冊子にしてみようかなども考えています。

そうそう、孫娘も「オジンくさい」と言いながらも欠かさずに見てくれており、それなりに会話が成立するようになりました。

「矢板発24時」と入力し検索してみてください。こんなものでブログなのです。

もし時間に余裕があり過ぎて困っている会員の方がいらつしやるようでしたら参考にしてみてください。

<http://omitsukisimotsuke.blogspot.com/>

竹トンボと子供達

海瀬 元之



私は5年ほど前から竹トンボを作り、これぞ子供たちと遊びパワーを貰っています。

竹トンボを始めたきっかけは、孫とかくれんぼとか駆けつこなで遊んでいるうちに、昔の遊びを教えてやろうと思いいち作りました。子供のころ作ってから55年ぶりの作品です。

昔の竹トンボの羽の形は四角く分厚いのでうまく飛びません。もつとよく飛ぶものを作れないかと図書館で本を借りて調べてみましたが、私が作ったものとはほぼ同じものしかないため、他に方法がないかとインターネットで調べてみると多くのサイトで出ています。初歩クラスから上級クラスまで盛り沢山。でも図面があるのは昔ながらの形の物しかなく、形が良いのは写真でしか出ていないので、試行錯誤しながらいろいろな形に取り組む内いつしかのめり込んでしまいました。おかげで人前に出しても自慢できるぐらいの物が出来るようになりました。

羽根の寸法は9cm×13cmを標準寸法としています。特殊サイズとして小さいもので6cm×8cm、大きなもので14cm×17cm以上、最大22cmの物もあります。

竹トンボは、幼稚園・小学2年生ぐらいの子供が飛ばすものは羽根長9～10cmにしています。孫の経験から寸法の長いものでは子供の手には負荷が大きく、うまく飛ばせないためです。14cm以上の長いものは大人でも飛ばすのが大変。

材料は、3～4年の孟宗竹、真竹。節間が長く真っ直ぐな竹を、水分が少なくなる11月～2月に伐採し、

6か月以上乾燥させたものを使います。知人、伝手を頼って集めていますが思うように集められないのが現状です。

現在、「竹トンボ遊び」の輪を更に広げようとしています。初めてのイベントは、矢板幼稚園の園児対象に、その後、矢板市ふるさと創年大学の子供秋祭りへ出品、又、地域子供会からの依頼など引き合いが広がっています。

当初は竹を削って竹トンボを作らせることを考えていましたが、いろいろ調べていると今の子供達はナイフの使い方が解らないし、刃物を使うと危ないのが理由で使わせない事が分かりました。それでは子供の親と同伴であればよかうと話をしましたが、なんと大半の親たちがナイフをうまく使えないとの事。リングの皮むきが出来ない人が多いとの事で驚きました。私が子供のころは、「肥後の守」（折りたたみ式ナイフ）をポケットに忍ばせていました。それは鉛筆を削るのが目的で、当時の鉛筆は品質が悪く芯がすぐ折れる代物ですから、鉛筆削りには必需品。この「肥後の守」を使い竹トンボ、竹笛、ゴムパチンコなどの遊び道具を作ったものです。

おかげで、ナイフ、のこぎり、鉋などの道具を使いこなせるようになっていました。指を切る怪我は何回もありましたが、それを見ても親父は「傷口に唾を塗っておけ」という程度で子供が怪我してもあまり気にしていない時代でもありましたね。

話が逸れましたが、子供達には最初は竹トンボを飛ばして楽しんでもらうことにしました。

完成品を渡してただ飛ばすのも芸がないので、白木の羽根にマーカーで自分の好きな色を塗り、絵を書いて貰う。子供達が彩色したトンボは見事なデザインです。

「では飛ばしましょう！」と、飛ばせない子に飛ばし方を教えます。『拍手するように両手を合わせ、竹トンボの軸を挟む、左手を脇腹に固定し、右手をこするよ

うに前へ出すと飛ばよ』と。最初はうまく飛ばせず下に落ちたり、右手を引いたため顔に当たりベソをかきかき・・・何度も何度も練習するうち、だんだん飛ばせるようになってきました。遠く、高く飛ばせるようになり、得意顔で竹トンボを追っかけている姿を見るのは可愛いものです。

「竹トンボ作り」の意義は

- ① 大空に飛ばして遊ぶ喜びがある
 - ② 自分で物を作る達成感や充実感を感じてもらう
 - ③ 道具を使いこなすノウハウを身につけられる
- 遊ぶ道具はなんでも手に入る時代ですが、このままでは物を作る創意工夫の精神が失われてしまうと危惧しています。子供のころから取り組むことでこの精神を養う事が出来ると思います。

今後は子供たちの親にも参加してもらい、道具（ナイフ）を使った物づくり（竹トンボ作り）が出来るよう取り組んでいきたいと思っています。

詩に浴して

貝塚 恒夫



昨年十二月 第六五回記念
県芸術祭詩部門で『石文』が準
文芸賞を受賞し、年末には東北
の名門詩誌「堅香子」の招待席
で『喪失の中で』が掲載された。

また、下野新聞元旦新春文芸欄
の扉部に「見えないことから」が掲載され詩に浴した日々
となった。尚、下野新聞の詩の原稿料は赤十字を通して
東日本大震災の被害者に寄付させて戴いた。今回それ
らの詩より、『喪失の中で』を皆さまにご覧戴ければ
幸いに存じます。

喪失の中で

貝塚 津音魚

慰めの言葉なんかいらね！

津波に父母を失っても哀しくなんかないぞ！

桜の花が咲いて散っても哀しくなんかないぞ！

ここ被災地の東北には春の光を届けはくはないのだから

だとも

生きねばならねエー！

生き残った命だから

当夜の夜は雪が舞い寒かった

瓦礫の中につめく声 死体の凍る音

まるで死に神が死粉を撒き散らしているようだった

おら かがア亡くした

海ア わらしささうっていた

神なんか信じられねエ

ちくしょう ちくしょう ちくしょう

君笑つことながれ

都には花の宴のあるものを

『なんで飲むんですか？』

呑まねばやってられねエ！

呑んで呑んで酒の力で気がうへになるサ

酔って酔って居酒屋に伏すも 君笑つことながれ

皆一度は泣いているから 泣いているからさ

つらい時 人間には一人で泣ける場所が必要なんだよ！

泣いて泣いて立ち上がるんだ！

今避難所にいる人たちは一人で泣ける場所が無いからさ

いまだに泣けないまま彷徨っているんだよ

泣いた時 あの世へいっちゃうか 立ち直るかのどっちかだ

はやくみんなに一人で泣ける場所を作ってくれや

政府の空虚な言葉の空中戦はもったくさんだ！

もったくさんだ！

ああ 海は憎いな

んだとも だとも海は悲しいな！



パソコンクラブ

入会申込・問合せ先
会 長：仲谷 輝郎
T e l：028-621-8670
事務局：山路 規生
T e l：0287-37-0125



パソコンクラブの紹介

入会金：不要です

年会費：2,000円 但し新規入会者は、初年度のみ1,000円とします。

定例会：毎月一回 第一水曜日 午前10時～12時 於：社友会室

パソコンに関する情報交換や研修会の日程・親睦会の開催に関して相談を行います。

研修会：毎月一回 第三水曜日 午前9時半～12時 於：社友会室

特定のテーマは決めずに、各自の覚えたいことや問題点を持ち寄り、会員が相互に教え合う方法でやっています。 モットーは『優しく』と『親切』です。

過去、栃木支部会報「nikko」のページ編集を担当して、文書作成や写真・イラストの挿入など必要に迫られたことがテクニックの向上に繋がってきました。

その他、音楽（カラオケ）写真の縮小など各人のノウハウを披露して、新しいテクニックを勉強し合っていますので、是非、会場の見学をお待ちしています。

パソコンでは色々なことが出来ます

具体的には



パソコンだけで出来ること

【Wordでは】

- ◎面白い文字を使用したり、見やすいレイアウトを考慮した催しの案内状の作成
- ◎写真やイラスト入りの案内状の作成

【Excelでは】

- ◎自分流の住所録・行事・記念日の管理が出来る
- ◎個人の名前を入れて色々な成績表が作れる
- ◎表を棒グラフや折れ線グラフに出来る

【デジカメ画像処理】

- ◎写真の編集 明るさ・色合い・回転・モザイクトリミングが出来る
- ◎写真の大きさを変えることが出来る

【その他】

- ◎ゲームで頭の体操

更にインターネットで出来ること

- ◎ガーデニングでの疑問が直ぐに調べられる
- ◎新しい料理のレシピを知ることが出来る
- ◎旅行先の名所や案内が調べられる
- ◎無料カラオケが出来る
- ◎全国の列車時刻が調べられる
- ◎住所が分かれば正確に場所が調べられる
- ◎全国の名物や安い訳有り商品が買える
- ◎無料でメールが出来る
関係の資料も一緒に送れる
- ◎TVの番組が、後で確認出来る
- ◎飲食店や色々な施設の割引券が手に入る
- ◎病気のことや名医を探すことが出来る
- ◎服用している薬の効能を調べることが出来る

会員の紹介

太字は新規加入者

安東 郁哉	青木 正和	浦川 正司	木村 正	佐藤 龍雄	佐藤 寿行
津田 功	徳田 浩	中村 義雄	仲谷 輝郎	日置 久義	廣田 哲雄
平山 勝	古市 正昭	福本 英之	山崎 一義	山路 規生	

ゴルフ同好会

◇活動状況

平成23年度の同好会コンペは、当初計画通り5月度より5回開催し、延べ226名の参加を頂き、会員相互の親睦と健康増進に貢献できました。新規メンバーも11名入会され、平成24年3月末の会員数は83名になりました。

平成24年度5月開催分と合せ定例コンペ結果は次の通りです。今後ともより多くの方楽しんで頂けるよう活性化を図って活動を進めて参ります。

1.定例コンペ	第 77 回	第 78 回	第 79 回	第 80 回	第 81 回	第 82 回*2
2.開催日	5 月 31 日(火)	7 月 25 日(月)	9 月 26 日(月)	11 月 28 日(月)	3 月 26 日(月)	5 月 28 日(月)
3.開催コース	千成 GC	那須小川 GC	随縁 CC 鬼怒川森林コース	ロイヤル CC	ニューセント アンドリュース GCJ	大日向 CC
4.参加人数	45 名	44 名	45 名	43 名	49 名	42 名
5.入賞者(ネットスコア)	第 80 回は新ペリア方式、他は全てハンディ方式で実施					
優勝	前川健治 (69)	内田秀雄 (64)	間仁田和久(73)	河越泰博(69.8)	安部敏行(82)	河越泰博(30.5)
準優勝	合田 研 (70)	原田博美 (66)	前野雄二 (74)	杉岡和彦(72.6)	穴戸栄(79)*1	鈴木和平(32.0)
3位	松本 隆 (71)	和田元良 (68)	針原修五郎(74)	原田博美(73.2)	飯田晋吉(83)	小川廣志(32.0)
4位	井村俊郎 (72)	野澤英男 (68)	徳田義文 (75)	木村 修 (74.0)	成瀬常明(83)	岡本純一(32.5)
5位	間仁田和久(73)	辻 勉 (69)	安部敏行 (76)	杉山隆夫(74.0)	木村 修 (83)	岩村 博 (32.5)
ベストグロス	合田 研 (80)	徳田義文 (76)	徳田義文 (79)	安部敏行 (80)	徳田義文(88)	河越泰博(東 37) 松内幸男(中 40)

*1 穴戸氏は優勝スコアであるが、初参加規定により準優勝。 *2 雷雨によりハーフコンペに短縮して実施。

<第81回 ニューセントアンドリュース スタート前の集合フォト & 表彰式時の懇親風景>



◇平成24年度の定例コンペ日程

定例コンペ	開催予定日	開催コース	定例コンペ	開催予定日	開催コース
第 82 回	5 月 28 日(月)	大日向 CC	第 85 回	11 月下旬	未定
第 83 回	7 月 30 日(月)	喜連川 CC	第 86 回	3 月下旬	未定
第 84 回	9 月下旬	未定			

《新会員募集》

* 入会金:無料、 年会費:無料

* 定例コンペ年間5回:5月、7月、9月、11月、3月

* 連絡先 幹事:松内幸男 ☎ :0287-43-6153

Eメール :matsuuchi.yukio@wind.email.ne.jp

歩こう会



◆歩こう会の案内

◇県内又は近県の山、溪谷、湿原等の景勝地への
日帰りトレッキング

◇定例会として難易度が初心者向き、一般向きのコースで年6回実施。歩行時間3～4時間程度。

◇コース開拓と会員のレベル向上を目指し、やや難易度を上げた有志でのトレッキングを適時実施。

◆活動状況

☆3月定例会 足利 天狗山 (参加：27名)

☆5月定例会 鹿沼 古峰ヶ原高原 (参加：17名)



◆平成24年度 例会実施予定

☆定例会として隔月に6回実施

☆有志例会は適時計画

定例会	実施月日	行	先	備考
第80回	平成24年5月20日(日)	栃木県 鹿沼市	古峰ヶ原高原	栃木百名山
第81回	7月22日(日)	山梨県 甲州市	大菩薩岳	日本百名山
第82回	9月23日(日)	栃木県 日光市	龍頭の滝～西の湖	
第83回	11月11日(日)	栃木県 日光市	川治～龍王峡	
第84回	平成25年1月20日(日)	茨城県 常陸大宮市	鷲子山/神社	新年懇親会
第85回	3月24日(日)	栃木県 足利市	石尊山～深高山	栃木百名山

◆会員の募集

◇入会申し込み： 下表の歩こう会幹事まで連絡ください。

◇年会費： 2,000円(10月以降の入会は1,000円) 家族会員は不要。

◆現状会員数

◇会員人数：30名

平成24年度新規会員募集中です。興味のある方の入会を歓迎します。

●連絡先 松本 隆 TEL 0287-63-6458 / 090-3906-9193

e-mail fgysk613@yahoo.co.jp



カメラクラブ



春の撮影会を実施

5月9日、カメラクラブ撮影会を実施しました。日本ロマンチック街道から奥利根湯けむり街道へと入り、片品村の「天王桜」、
「水芭蕉」を撮影しました。樹齢300年以上の見事な枝ぶりの山桜です。



「天王桜」



「水芭蕉」



「参加者」

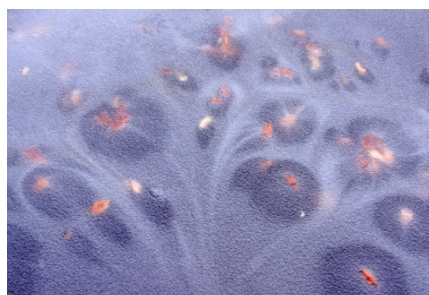
『しもつけ写真大賞展』に入賞（5名）、準特選1点、優秀賞1点、入選8点

下野新聞社主催の第15回しもつけ写真大賞展の最終審査が去る4月14日に行われ、県内外644名、
2,114点応募作品の出展があり、当カメラクラブ応募者から5名入賞しました。

◇入賞者 /入賞数： 田代宏明 /3点 ・志賀 実 /3点 ・山口重一 /2点 ・村井敏一 /1点 ・大屋信幸 /1点



準特選：「飾り旗行列」 田代宏明



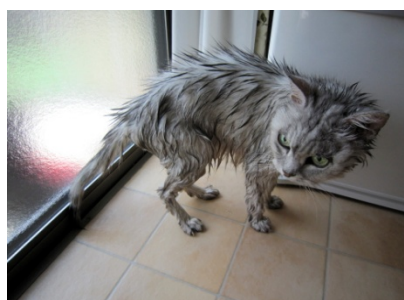
優秀賞：「水中花」 志賀 実



入選：「母子の絆」 村井敏一



入選：「霧舞う湖水」 山口重一



入選：「寒いな」 大屋信幸

※入選作品の紹介

各自1点を掲載しました。
詳細はHPを参照ください。

平成24年度活動計画

実施年月日	活 動 内 容	実施年月日	活 動 内 容
H24 年 4 月 11 日	カメラクラブ総会	H24 年 10 月 21 日	撮影会(福島方面)
4 月 18 日	撮影会(桜、矢板フォトクラブ合同)	11 月 14 日	定例会(作品講評)
5 月 9 日	撮影会(片品方面、桜、水芭蕉)	12 月 12 日	定例会(基礎研修)
6 月 13 日	定例会(作品講評)	H25 年 1 月 9 日	新年定例会、顔合わせ
7 月 11 日	定例会(基礎研修)	2 月 13 日	撮影会(日光方面)
8 月 8 日	撮影会(スッカン沢)	3 月 13 日	定例会(作品講評)
9 月 12 日	定例会(作品講評)		

会 員 募 集 中！ 連絡先 幹事： 只 友 将 弘 携帯 090-3248-7309



カラオケ同好会

<入会申込・問合せ先>

会 長： 福永 勝行
(TEL) 0287-44-1109
事務局： 青木 正和
(TEL) 0287-44-1332

♪♪ 新規会員 募集中 ♪♪

石の上にも三年と申しますが、カラオケ同好会も会員諸氏のご協力によって、五年目を迎えることが出来ました。現役時代は仕事に追われ、なかなか自分の時間が持てないモーレツ社員時代と比べ、OBとなつてから自分の時間を持て余している方も多数おられますが、時間の過ごし方として、待つ時間の長さと、日々、年を取る早さが如何に別物かを実感する今日この頃です。自分の可能性について、じっくりと考えてみては如何でしょう。

カラオケ同好会も名誉会員を含めると二十三名になり、一ヶ月に一回の開催でも なかなか全員揃わないこともありますが、自分の隠れた才能に目覚める人もおりますので、気軽に参加し、歌だけでなく、夫婦の会話も楽しめるクラブ活動に、沢山の皆様が参加されることを会員一同、願っております。体験参加も可能です。また、入会金、年会費は不要です。



5月 定例会参加者



5月 コリーナ矢板にて



5月 定例会で熱唱中

< 定例会活動状況 >

実施日	実施場所	参加者数
12 / 13	コリーナ矢板	10 名
1 / 10	カラオケ BanBan	10 名
2 / 14	カラオケ BanBan	8 名
3 / 13	カラオケ BanBan	8 名
4 / 10	コリーナ矢板	6 名
5 / 8	コリーナ矢板	8 名
6 / 12	コリーナ矢板	10 名



♪♪ カラオケ好きの皆さ～ん ♪♪

カラオケ採点機能で満点にチャレンジしてみませんか！
まだ、満点を出した事は、ありません。

『 今迄の最高得点 』

98点 / 100点満点 995点 / 1000点満点

< 同 好 会 会 員 >

福永勝行	青木正和	城本 昭	古市正昭	村上五十六	島田次秀	三堂地時臣	手島正典
津田 功	安藤八郎	佐藤壽行	津久井秀一	山本正和	丸渕孝文	徳田 浩	浦川正司
郡司忠一	福本英之	細川美生	小倉麗子	古市和子	泉口トシエ	村上サダ子	《計》23名

新入会員紹介

(平成二十三年九月十六日)

二十四年三月末入会者



会員番号 五六〇六
玉木 光一

一九五〇年二月十六日生

昨年九月に退職し、社友会

栃木支部に入会させていただきました

現在は現役時代から親しんでいますソフトテニスに多くの時間を費やしております。

社友会の皆様方には今後とも何かとお世話になると思いますが宜しくお願い致します。



会員番号 五六二五
後藤 講栄

一九五一年十月二十日生

昨年の十月に定年退職し、

社友会栃木支部に入会させて頂きました。

最近になってやっと会社勤めでない生活になれました。

今まで日曜日しか出来なかった農作業も、曜日を気にすることなく自由にやる事ができ、スローライフを実感しています。

地域活性化の活動等にも出来るだけ参加して貢献して行きたいと考えています。

又、これからはいろいろと趣味の幅も広げて行きたいと思いますので社友会の皆様方には今後共、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



会員番号 五六一六
肥塚 晃

一九五一年十月二十三日生

昨年、七年半の単身赴任を終え定年退職となり社友会に入会させて頂きました。

地域活動への協力と、健康に留意しながら趣味など充実できればと思っています。

諸先輩方今後ともよろしくお願い申し上げます。



会員番号 五六四五
岡部 伸雄

一九五一年四月十六日生

定年後はいろいろな事にチャレンジをする時間を得る事が出来ました。

資格取得、菜園、アマチュア無線、配偶者との旅行など、そして一年がたち、三月より新しい仕事に挑戦しています。

心身健康なうちは、チャレンジを続けたいと思います。



会員番号 五六五三
上野 政男

一九五二年一月一日生

一月に定年退職し、社友会栃

木支部に入会させて頂きました。

これからは、色々なことにチャレンジし自由時間を有意義に過ごしたいと思っています。

皆様には、何かとお世話になるとは思いますが、宜しくお願い申し上げます。



会員番号 五六五四
才津 宣義

一九四八年十二月十二日生

昨年十二月に退職し社友会の一員にさせて頂きました。

健康維持を心掛け、在職中は忙しさにまけて出来なかった育メンならぬ育ジイで過ごしています。皆様には、何かとお世話になるかと思いますが、宜しくお願い致します。



会員番号 五六九四
長谷川 忠夫

一九五一年一月十二日生

二〇二二年一月に退職し

て早くも四ヶ月が過ぎました。今は社友会ピカピカの一年生です!!! 宜しくお願い致します。

「継続は力なり」と言うことで現役時代から行っている書道・早朝ウォーキング・日記書き等継続しつつ、これからは新たに「一日一善」を目標に頑張っ



会員番号 五六九五
滝口 一彦

一九五二年一月十五日生

二〇二二年一月に定年を迎

え、社友会に入会させて頂きました。

早速「ゴルフ同好会」に入会いたしました。

今後共懐かしい先輩皆様方との友好を大切に有意義な人生を過ごしていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



会員番号

五七三二

三樹 和男

一九五二年二月三日生

二月に定年退職し、社友会

栃木支部に入会させていただきました。

季節の移り変わりを、肌で感じるようになり、
在職中には出来なかったこと等で、有意義に過こ
しています。

今後、社友会の活動に参加して行きたいと思いま
すので、宜しくお願いします。



会員番号

五七三一

横山 辰夫

一九五二年二月四日生

二月に定年退職し、社友会

に入会させていただきました。

退職後の自由時間を有効に使いながら、月一回ペー
スで大会に参加する事を目標に毎日十キロの走り
込みを行ない、健康維持出来るよう続けて行きたい
と思っています。

これからの人生を有意義に過ごせるよう、社友会
会員の皆様と共に活動して行きたいと思えますの
で、宜しくご指導お願い致します。



会員番号

五七五九

千葉 守

一九五二年二月二十六日生

二月に退職をし、社友会栃木
支部に入会させていただきました。

自由を実感していますが、しばらくはのんびりと
自分を見つめ直し、今後について考えようと思っ
ています。

今後共、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいた
します。

☆ 写真・メッセージをいただけなかった皆様は、
会員番号、氏名、誕生日のみ紹介いたします。

会員番号 氏名 生年月日

五六三七 松本 茂廣 一九五一年十一月十九日生

五七二九 斎藤 俊夫 一九四九年八月十一日生

五七三〇 今泉 裕明 一九五一年一月二十五日生

五七三三 横田 慎二 一九五二年二月五日生

松島義夫様 春の叙勲で

「瑞宝小綬章」を受章

おめでとうございます



宇都宮市内にお住ま
いで、今年八〇歳を迎
えられた松島義夫様
(会員番号一〇七〇)

が、四月二十九日に発
表された「平成」二十四

年度 春の叙勲」において、公共の業務に永年従事
しその貢献度が高く評価された者に贈られる「瑞宝
小綬章」を受章されました。

栃木支部会員としては、十年ぶりの栄えある受章
となりました。

“長寿” おめでとうございます

(対象期間 H23. 9. 16~H24. 3. 31)

米寿

0374 土田 甲子 2月 5日

喜寿

0652 小松 博 9月 29日

0668 佐藤 嘉久 11月 23日

0719 富岡 堯子 3月 18日

古希

2079 尾坂 明 10月 29日

2098 網野 正輝 11月 6日

2150 山本 東洋治 1月 1日

2191 尾崎 亘宏 1月 20日

2284 山内 守 3月 7日

2249 悦内 芳孝 3月 21日

表紙説明 (写真は日光杉並木街道)

この街道は、「日光」に至る日光街道・例幣使街道
会津西街道の三つからなり、総延長37kmもある
並木道です。樹齢三百八十年を超えるものを含めた
杉の巨木が約一万二千五百本も連なる壮大な並木で、
我が国で唯一、特別史跡と特別天然記念物の二重
指定を受けています。(大屋 信幸)

編集後記

皆様からお寄せ頂いた記事で「nikko」
第三〇号は思いのほか窮屈なページ割り付けをする
状況になり、嬉しいやら収め込むのに苦心するやら
といった一幕もありました。
たくさんのご寄稿に感謝を申し上げます。
いよいよ本格的な暑さの盛夏を迎えます。
会員の皆様におかれましては、日頃からの節電は
必要ですが、熱中症にならぬようご自愛いただき
たいものです。(荒田 英治)

シャープ社友会・本部年賀会衛星TV中継(平成24年1月24日)



栃木支部・賀詞交歓会 鬼怒川温泉(平成24年1月29～30日)



花とバーベキュー懇親会(平成24年4月14日)



シャープ社友会・栃木支部 定期総会(平成24年5月13日)